

動物公園日誌

日直 しずか (ハシビロコウ)



ごきげんよう。ワタクシ、しずかと申しますの。みなさまがハシビロコウという鳥の名前を聞いたのはここ数年なんじゃないかしら。でもワタクシが千葉にきたのは1989年。32年も前からこちらの動物公園におりますのよ。

ひとりですごすのがだいすきですから、同じハシビロコウのじっとさんとはべつべつに住んでいますの。おひとりさまなんて言うのかしらね。でもお世話係のオジサマのことはとても気に入っていますわ。近づいていらしたら頭を下げて

あいさつするようにしていますのよ。

そうそう、オジサマに聞いたのですが、ワタクシたちってなかなか動かず、しずかにじっとしているところがみなさまに人気なんですってね。アフリカにいる野生の仲間たちは、エサのハイギョっていうお魚をつかまえるのに、気づかれないように動かないようにしていますの。こちらでは、毎日コイをつかまえていますわ。少し羽ばたいてとんだりすると、みなさまがびっくりして目を丸くしてくれるのがなんだか楽しくって、毎日ハッピーにすごしていますの♪



☎動物公園 ☎252-1111 FAX255-7116

千葉市の🍅をつくらべ!

市内ではさまざまな農産物がつくられています。産地ならではの、新鮮で旬の農産物をおいしくたべませんか?

コマツナ 旬…10~5月



コマツナは、アブラナ科アブラナ属の野菜です。カルシウム、ベータカロテン、鉄などの栄養が含まれます。旬は冬ですが、炒め物やおひたし、吸い物の具など幅広く1年を通して食べることができます。茎が太く、葉に厚みがあるものを選びましょう。

Recipe コマツナのマスタードあえ

- (材 料) 4人分
- コマツナ …140g
 - ニンジン …1/2本
 - ツナ缶 …1缶
 - 粒マスタード…大さじ1
 - マヨネーズ …小さじ2
 - しょうゆ …小さじ2



- ①コマツナをゆでて3~4cmの長さに切り、ニンジンは短冊切りにしてゆでる。
 - ②ツナの油を軽く切っておく。
 - ③粒マスタード、マヨネーズ、しょうゆを混ぜる。
 - ④ボウルに①②を入れ、さっと混ぜてから③を加えてあえる。
- (レシピ出典=「ちばのおかず 郷土の食材と料理」を一部改)

☎農政課 ☎245-5758 FAX245-5884



東京2020オリンピック・パラリンピック関連情報

幕張メッセで
7競技開催

さあ、MAKUHARI から未来へ

千葉市ゆかりのアスリートを紹介

パラアスリートの未知(道)

きょう や かずゆき
京谷和幸さん

車いす
バスケットボール

交通事故から這い上がった不屈の魂
ヘッドコーチとしてメダル獲得を目指す

車いすバスケットボールへの挑戦

京谷和幸さんは、現在のジェフユナイテッド千葉で活躍した名プレイヤー。若手選手として未来を囁望されていた矢先の22歳の時、突然の悲劇が彼を襲います。結婚式の打ち合わせに向かう途中交通事故に遭い、下半身不随となりました。



引退を余儀なくされ、人生の目標を見失いかけた京谷さんに転機が訪れます。妻が京谷さんに代わり障害者手帳の申請に市役所を訪れると、偶然にも対応した職員が、全国大会に数多く出場している千葉ホークスの選手。車いすバスケットボールを紹介され、諦めかけていたスポーツに再度挑戦することを決心します。「もう一度、妻や家族、仲間に自分が輝いている姿を見せたい」。

千葉ホークスに入った彼は徹底的に上半身を鍛え抜くため、車いすに20キロの重りを付けて坂道を駆け上がる練習を重ね、スピードとパワーを身に着けます。「車いすバスケットボールを始めてから、人を認め、人を褒め、人のためになにができるかを考えるようになった」。人間的な成長と日頃の努力により、チームメイトから厚い信頼を得るようになり、「どんな状況下でも常にチームの精神的柱であること」を心掛け、チームを全日本選手権3連覇に導きます。さらに、自身も2000年から4大会連続のパラリンピック出場を果たします。

☎オリンピック・パラリンピック調整課 ☎245-5296 FAX245-5299

日本代表を率いる立場として

ロンドン2012大会を最後に引退しましたが、選手時代になし得なかったメダル獲得を目指し、昨年ヘッドコーチとして日本代表に復帰します。「東京大会の成功が一番。競技を見てもらいたい、その中から何かを感じてもらえるよう、最高のプレーで応えたい」。

選手が縦横無尽にコートを駆け巡って活躍する姿は、大きな感動を与えてくれるはずです。

京谷さんは、現役時代と変わらず、選手の日線や気持ちに立ってアドバイスすることを心掛けています。「指導する立場として、自分の言葉に責任を持って選手に接することが大事」。特に若手の選手には、「失敗を恐れず挑戦し、大舞台を楽しんでもらいたい」と期待を寄せています。

未来を見据えて

京谷さんは、未来のパラリンピアンに向けて自身の夢を語ります。「障害のある子どもたちの未来を育むために、夢や目標に向かって一歩踏み出すきっかけをつくりたい」。子どもたちが車いすバスケットボールと触れ合う機会をつくり、今日も全国を走り回っています。

